

祝 辞

厳しい冬の寒さも過ぎ、柔らかな日差しが感じられる春となりました。

本日ここにご卒業を迎えられました皆様、ならびに、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。

在校生を代表して心からお祝い申し上げます。

皆様には、学業を始めとして、サークル活動や造大祭など、あらゆる場面で大変お世話になりました。ありがとうございます。

皆様のおかげで私たちも学業や学校行事を充実させることができました。

先輩方が学校活動において、積極的に行動し取り組む姿勢はとても輝いて見えました。先輩方のお言葉や活動の進め方は、今後の大学生活での過ごし方、ひいては、その先の社会人として生きていくうえで必要となる多くの学びを得ることができました。

先輩方がそれぞれの分野での知識や技術を習得するために、この大学へと進学されてから四年の月日が流れました。その大学生活の中で様々な経験をされて、より多くのことを学び、成長されたことと思います。四月から皆様は、就職や進学といった新たな生活が始まるかと思っています。

新たな道を進む中で、多くの迷いや困難、苦労がたくさんあると思います。そのような中でも、この大学で得られた経験と学びが、皆様の将来を明るく導いてくれることを願っております。私たち在校生も、先輩方の背中を追えるよう努力してまいります。

最後になりますが先輩方の今後のさらなるご活躍とご多幸を心からお祈りし、在校生の言葉とさせていただきます。

令和八年三月十九日

長崎総合科学大学 学生自治会執行委員会

委員長 荒木 翔太